

県立図書館の資料整備

島根県立図書館次長 豊田 邦雄

二年前に出版された立花隆さんの「ぼくはこんな本を読んできた」という本の中に、本の選び方、読み方の一節があり、おおよそ次のようなことが書いてある。

何かを学ぶにあたって、先ず入門書をバラエティに富んだもの複数冊読んでいく。下手に一つの入り口から入ってしまうと、それが固定観念となって、一生そこから抜けきれないことになるからである。次いで、その学問の歴史、思想史に移る。その学問が何をどう問題にしているかを手早く把握するためである。そしていよいよ専門書に入る。新しい情報は雑誌の論文でいうことになる。

立花さんのような著名な評論家の真似は簡単には出来そうもないが、読書法としては誠にオーソドックスであり、図書館の立場から言って、図書館利用者の図書利用傾向を予測する上で大変重要であり、資料収集において大いに参考となるものである。

最近生涯学習の重要性が叫ばれ、公共図書館も注目されつつあるが、それに伴い県立図書館と市町村立図書館との役割分担が

論議される。資料の収集もその一つであるが、市町村立図書館は日常的な読みやすい本を収集し、県立図書館は専ら市町村では買えないような高価な専門書を揃えるべきという意見がある。一見合理的であるように思えるが、先にみた利用者層に十分に応えることが出来ないのは明白である。

現在、県立図書館は県民へのサービスを如何にすべきか、その役割が改めて問われているが、県立図書館は、市町村立図書館を経由してはじめて、全県民へのサービスが可能となるという考え方がコンセンサスとなりつつある。資料の提供は最も重要なサービスであるが、収集方針の違う個々の市町村立図書館からの様々な要求に十分に應えていくためには、どうしても分野、難易を問わず幅広い収集が必要であり、文部省が示す「公立図書館の設置及び運営に関する基準」(平成 4 年)においても、そのことがきちんと明記されている。具体的に言えば、年間出版図書(約 6 万点)の大半(6 割以上)は揃えないと県立図書館とは言えないのではなかろうか。

日本大好きです!!

海外技術研修員 ヴァイナール イロナ

子供の時の夢は日本へ行くことでした。何故か分かりませんが、四カ月前その夢が本当になりました。7月5日に関西国際空港に着き、次の日松江に来ることができました。まだ大学を卒業してから5日間しかたっていなかったのですが。

それから一ヶ月しほね国際センターで日本語の勉強をして、8月5日に島根県立図書館で図書館学の研修を始めました。

図書館は県立としてはそんなに大きくないのですが、とても進んでいると思います。わたしが卒業した大学“Babes-Bolyai”（バベツ・ボヤイ）大学の図書館は島根県立と本は同じくらい（約40万冊）で、文学部ですので文学と語学が多いです。でもコンピュータはあまりありません。だいたいルーマニアではコンピュータをあまり使いません。もちろん1台はどこでもあります、やはりとても少ないです。日本のほうが便利で進んでいます。浜田市の国際短大に研修に行った時、コンピュータ室に60台ぐらゐもありました。

図書館の話にもどしましょう。一番最初の印象は、日本人は読書が大好きで楽しんでいることです。毎日人々は図書館の前で開館を待ち、学生たちは自習室を使います。時々コンピュータゲームを楽しんでいるようですが、でも日本人は図書館だけでなく、どこでも読めると思います。本屋で、バス停で、時々信号で青を待ちながら、図書館でお母さんたちは子供たちに絵本を読んだり、学生たちはマンガを読んだり、雑誌を見たり、実業家は新聞を読んだり、お年寄り“何か新しい本か雑誌がありますか？”と聞きます。

日本の図書館はルーマニアの図書館より充実していると思います。子供室や子供コーナーがあります。ルーマニアには全然ありません。ハンガリーでは見たことがありますが。子供室があるだけでなく、子供たちのために活動もできます。例えば毎週水曜日の3時から絵本を読んであげたり、第四土曜日には“お楽しみ会”があります。わたしも英語の絵本を読んであげています。もう子供の友だちもできました。子供が大好きです。

ルーマニアでは子供たちのために次のようなことをします。6月1日は国際的子供の日です。この日子供たちはプレゼント、特にキャンディーをもらったり、見せたり、どろに絵を書いたり、スポーツの試合や歌を歌ったりもします。もう一つ、12月6日にサンタニコラスの日があります。サンタニコラスはサンタクロースの兄弟です。5日の前夜子供たちは靴を窓において寝ます。良い子ならばサンタニコラスはオモチャやキャンディーを持って来ます。しかし、悪い子はもらうことができません。これらの子はヴィルガーチ（金か銀色に塗った木の枝）をもらいます。

わたしの母は学校の先生です。そしてチェスも教えています。毎年12月6日彼女は小学生のために“サンタニコラス・カップ”を開催します。

クリスマスとは別に、子供と大人は両方とも楽しみに待っています。クリスマスは本当のキリストの祝日ですが、世界でみんな祝います。クリスマスの後もうすぐ新しい年の日が来ます。12月はプレゼントの月といいます。なぜならその月は沢山祝日もあるし、プレゼントもあって喜びの月でもあるからです。12月1日（ルーマニアの日）から12月31日の大晦日まで。

今年はふるさとを離れて、母国語（ハンガリー語）もルーマニア語も話さない、初めてのクリスマスです。しかし、わたしは12月14日の県立図書館の“こどものつどゐ”がとても楽しみです。わたしたちは絵本を読んだり、クリスマスソングを歌います。

どうぞよろしくお願いいたします。

シンポジウム「図書館のある暮らし」開催

10月24日（金）、大社町文化センターにて、上記シンポが開催され、自治体職員や図書館関係者、地域住民ほか約130名の参加者がありました。午前は難波利三氏の講演、午後は田中和彦大社町長、日本図書館協会委員で鳥取県青谷町立図書館準備室長の松元嶺生氏、浜田市子どもたちの未来を考える会代表の坂本文江氏の3氏をパネリストに、島根女子短大助教授の堀川照代氏をコーディネーターに活発な意見交換が行われました。平成11年に新しい図書館がオープンする大社町の田中町長からは、新図書館の概要と生涯学習・文化のまちづくりネットワーク構想等についての発表、これまでいくつかの図書館建設に携わっておられる松元氏からは、全国の図書館の状況と図書館づくりについての発表、「異文化交差点」と名付けた集会などによって情報発信しておられる坂本氏からは、子どもたちの読書環境、たくさんの文化にふれあう機会について、自らの活動と行政等に対しての要望を含めて発表がありました。会場の参加者からは多くの質問、意見が寄せられ、関心の高さが感じられました。

公共図書館初任者研修及び図書館の自由を考える研修会開催

1. 初任者研修

と き 平成10年1月28日～29日

対 象 公立図書館、図書室等初任職員

2. 図書館の自由を考える研修会

講 師 馬場俊明（ばんばとしあき）氏 堺女子短大教授

と き 平成10年1月29日 13時～16時

対 象 公立及び学校図書館職員ほか、図書館関係者

1. 2. とも会場は島根県立図書館です。

☆詳細は下記へ問合せください。

★問合せ先 島根県立図書館普及係 TEL 0852-22-5729



受賞おめでとうございます

◇(社団法人)読書推進運動協議会 表彰

〔全国優良読書グループ〕

○横田町婦人読書会

代表者 枝木幸子

昭和53年発足 成人読書会

◇島根県読書推進運動協議会 表彰

〔読書推進運動功労者〕

○河野美智子（浜田市）

○秦 信夫（松江市）

○坂田 高師（六日市町）

〔優良読書グループ〕

○伯太町子ども読書クラブ

代表 原田貴与子

○掛合町子ども読書会連絡協議会

代表 石飛由美子

○成人読書会すみれ会（大東町）

代表 佐藤 愛子

「こどものつどい」をおこないます

と き：平成9年12月14日（日）

午前の部 10：30～12：00

午後の部 13：30～15：00

（午前と午後の2回上演）

ところ：島根県立図書館 集会室

★幼児・小学校1年～3年生向き

プログラム

1. ハンドベル

2. パネルシアター『森のクリスマス』

3. ブラック紙芝居『モチモチの木』

4. 人形劇『そらいろのたね』

5. うた

参加自由・無料です

お詫び

前月号（118号）で次のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫びします。

1 頁本文の右側上から3行目

誤：2001年 正：2003年

行事予定

12月	1 月曜休館	2 火	3 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	4 木 特別整理休館	5 金	6 土 故郷を 読む会(近世) 14:00~16:00
7 日	8	9 成人 読書会 13:00~15:00	10 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	11 万葉集を 読む会 14:00~16:00	12 出雲國 風土記を読む会 13:00~15:00	13
14 子どもの つどい 10:30~12:00 13:30~15:00	15 休館日	16	17 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	18	19	20 故郷を 読む会(中世) 13:30~15:00
21	22 休館日	23 休館日 天皇誕生日	24 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	25	26	27
28 年 ←	29 末	30 休	31 館 →			

◎ 館内展示… 演劇に関する資料展

1月				1 元旦 ←	2 金 年始	3 土 休館
4 日 →	5 月曜休館	6 火	7 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	8 万葉集を 読む会 14:00~16:00	9 出雲國 風土記を読む会 13:00~15:00	10
11	12 休館日	13 成人 読書会 13:00~15:00	14 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	15 休館日 成人の日	16	17 故郷を 読む会(中世) 13:30~15:00
18	19 休館日	20	21 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	22 全館休館	23	24 子ども おたのしみ会 10:00~11:30 お話を読む会 (近世)14:00~16:00
25	26 休館日	27	28 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	29	30	31 月末休館日

◎ 館内展示… 教科書にのっている「子どもの本」

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合があります。

利用案内

●休館日

毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたるときはその前日)
年末年始 12月28日~1月4日
図書整理休館(年2回、それぞれ10日間)

●開館時間 9時~18時

ただし、こども室は火曜日~土曜日は13時~18時
(第2・第4土曜日・日曜日および小・中学校の春・夏・冬休み期間中は)
午前9時から開きます。

●貸出し

冊数…5冊以内
期間…15日

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL0852-22-5725

発行日 平成9年11月28日

FAX0852-22-5728